

2008年6月10日
 中日本高速道路株式会社

2008年3月期 決算概要(連結)

1. 業績の概況 当連結会計年度(自 2007年4月1日 至 2008年3月31日) (単位:億円)

	2007年度 (第3期)	2006年度 (第2期)	2008年度 (第4期) 計画
営業収益	7,417	6,902	8,576
高速道路事業	6,996	6,356	8,016
休憩所事業	252	257	265
その他(関連)事業	168	288	295
営業費用	7,237	6,714	8,498
高速道路事業	6,895	6,260	8,004
休憩所事業	167	162	191
その他(関連)事業	174	291	303
営業利益	179	188	78
高速道路事業	100	96	12
休憩所事業	84	95	74
その他(関連)事業	5	3	8
経常利益	189	201	66
当期純利益	109	116	39

(注)1. 2008年度計画は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素により、上記計画数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

(注)2. 事業内容の種類、性質等の類似性、損益集計区分及び関連資産に照らし、以下のように事業区分を行っております。

事業	業務内容	
高速道路事業	建設事業	高速道路の新設、改築
	保全・サービス事業	高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理
休憩所事業	高速道路内におけるサービスエリアの建設、管理及び運営	
その他(関連)事業	受託事業、トラクターミナル事業、占用施設活用事業、物販事業等	

2 トピックス

(1) 高速道路事業

(実施した施策)

首都圏中央連絡自動車道(八王子JCT~あきる野IC 9.2km)6月23日開通
新名神高速道路 (亀山JCT~甲賀土山IC 18.8km)2月23日開通
スマートIC(東名 富士川SA・遠州豊田PA・東名阪道 亀山PA)4月1日営業開始

(通期業績)

高速道路事業の営業利益は**100億円**を計上
高速道路事業営業利益は、計画を上回る堅調な料金収入などにより、日本高速道路保有・債務返済機構と締結した「協定」で取り決めた道路資産賃借料を差し引いた後、**100億円**を計上することができました。

(2) 休憩所事業

(実施した施策)

コンビニエンスストア : 東名阪道大山田SA(上り)4月5日オープンほか12箇所
セルフ・カフェショップ等 : 東名高速海老名SA(下り)4月6日オープンほか 3箇所
地産地消店舗 : 東名高速新城PA(下り)7月27日オープンほか 3箇所
速弁 : 地元の料亭などに働きかけて開発した高級弁当「速弁(はやべん)」の販売箇所を
上下線あわせて18箇所に拡大

(通期業績)

道路休憩所事業の営業利益は**84億円**を計上
道路休憩所営業利益は、より便利でより快適にご利用頂けるように、SA・PAの改修・改築等を積極的に行ったことと、維持管理にかかる費用が増加したことで、営業利益は対前年度を10億円下回る **84億円**を計上することとなりました。

(3) その他

【グループ経営管理体制の構築】

2007年度までに維持管理業務などのグループ化が完了し、NEXCO中日本グループは当社及びグループ会社17社^()、合計18社・約9,000人となりました。

これにより、2008年度を「グループ経営元年」と位置付け、グループ全体で経営理念・経営方針を共有するとともに、各施策を一体的に進めることにより本格的なグループ経営を推進します。

2008年4月1日時点(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)と(株)クエストエンジニアの合併後)

以上